

2023 年度業務実績報告書

提出日 2024 年 1 月 17 日

1. 職名・氏名 准教授・松林順
2. 学位 学位 博士、専門分野 理学、授与機関 京都大学、授与年 2015

3. 教育活動

(1)講義・演習・実験・実習
① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 動物生態学（2） 2年 化学実験（1） 2年 水圏環境学実験（2） 2年
② 内容・ねらい 動物生態学：水圏生態系が人類にもたらす恩恵と、その生態系機能を維持するために水圏動物が果たす役割に焦点を当てながら、動物生態学における重要事項について概説する。また、人間活動が水圏生態系に及ぼす影響とその保全や資源管理における動物生態学の重要性について論じる。 化学実験：化学薬品の使い方や実験器具の取り扱い方など実験室で安全に実験を行うために必要とされる事項について講述するとともに、重量分析、容量分析、吸光度分析など種々の化学分析の原理と操作法を学ぶ。 水圏環境学実験：水圏の環境と、生物多様性・生物生産のかかわりを理解するための、フィールドワーク、生物観察、分析などの手法を学ぶ。
③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 講義においては、チームワークや批判的思考、文章作成能力を養うために、グループワークや研究発表に対する質疑応答、ライティングに関する集中的な解説等を盛り込んだ。また、講義期間中に実施した 5 回の小課題および最終レポートでは、すべての学生の回答に対して入念なフィードバックを実施した。 【ゲストスピーカー 1 人（大学院特別講義 II）】 【フィールドワーク等 1 件（水圏環境学実験）】
(2)その他の教育活動
内容 ・ 丸岡高校の大学訪問において、実習および講演を実施 ・ オープンキャンパス前日イベントにおいて、魚の解剖実習を担当 ・ 講座の複数学生の卒業論文、修士論文執筆に際して、統計解析に関する指導を実施 ・ 研究室に所属した 3 年生の卒業研究指導を実施

4. 研究業績

(1)研究業績の公表	
①著書	【 本】
②学術論文（査読あり）	【 本】
③その他論文（査読なし）	【 本】
④学会発表等	【 件】
⑤その他の公表実績	【 本】
(2)科研費等の競争的資金獲得実績	
(3)特許等取得	
(4)学会活動等	

(1)補職
(2)委員会・チーム活動
(広報委員、2023 年 4 月～2023 年 3 月)
(3)学内行事への参加
ランチタイムセミナーにて研究発表 (2023 年 7 月 21 日)
(4)その他、自発的活動など